

# 平成25年3月28日参議院厚生労働委員会 はたともこ質問に対する矢島健康局長答弁

## はたともこ

 日本人の細胞診正常女性のHPV16型・18型の検出率は？

## 矢島健康局長

 HPV16型の感染の割合は0.5%、18型は0.2%。  
(琉球大学論文 国立感染症研究所作成ファクトシート)



 HPVに感染しても、90%以上は自然排出されるのか？


 御指摘の通り。90%が2年以内に検出されなくなったという米国の報告がある。


 持続感染し、前がん病変の初期段階である軽度異形成になったとしても、90%は自然治癒するのか？

 若い女性の軽度異形成の90%が消失するという報告がある(イギリスの医学雑誌ランセット)。

## 結論

-  日本人一般女性の16型・18型の感染率は0.7%
-  感染しても90%は自然排出。持続感染して、前がん病変の軽度異形成になっても90%は自然治癒する。

 軽度異形成の段階では経過観察を行い、中等度、高度への進展の段階で治療をすれば、大部分は治癒するのか？

 中等度異形成の後、CIN3の段階、高度異形成や上皮内がんに対応する段階では病変部を取り除く子宮頸部円錐切除術が行われて適切な治療が行われた場合には治癒率はおおむね100%であると日本産婦人科腫瘍学会のガイドラインに示されている。

## 結論

検診により、HPVの感染、持続感染、軽度・中等度・高度異形成が発見されれば、適切な治療によって前がん病変の段階で完治する。  
すなわち、定期的な併用検診(細胞診+HPV・DNA検査)によって、子宮頸がんは予防できる。

# HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)の重篤な副反応

各ワクチンの副反応報告件数

| ワクチンの種類                                  | 副反応の報告 |                    | 左記のうち、重篤 |                    | 接種回数       |
|--|--------|--------------------|----------|--------------------|------------|
|  | 件数     | 発生率<br>(100万接種当たり) | 件数       | 発生率<br>(100万接種当たり) |            |
| 子宮頸がん予防ワクチン<br>(サーバリックス)<br>【平成21年12月発売】 | 1,705件 | 245.1              | 795件     | 114.3              | 6,957,386  |
| 子宮頸がん予防ワクチン<br>(ガーダシル)<br>【平成23年8月発売】    | 263件   | 155.7              | 83件      | 49.1               | 1,688,761  |
| ヒブワクチン<br>【平成20年12月発売】                   | 627件   | 59.2               | 249件     | 23.5               | 10,591,278 |
| 小児用肺炎球菌ワクチン<br>【平成22年2月発売】               | 869件   | 82.9               | 319件     | 30.4               | 10,480,144 |
| インフルエンザワクチン<br>【平成24年10月1日~12月31日】       | 328件   | 6.4                | 114件     | 2.2                | 51,506,304 |

## HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)の重篤な副反応

**サーバリックス** (平成25年3月31日までに)

795件 / 6,957,386接種 / 258万人  
10万人に30.81人

➡ 3,245人に1人

**ガーダシル** (平成25年3月31日までに)

83件 / 1,688,761接種 / 70万人  
10万人に11.86人

➡ 8,434人に1人

**両剤合わせて**

878件 / 8,646,147接種 / 328万人  
10万人に26.77人

➡ 3,736人に1人

**重篤な副反応**

インフルエンザワクチンと比べて、  
サーバリックスは52倍  
ガーダシルは22倍

※重篤については、報告医が重篤として報告してきたものと製造販売企業からの報告であり、必ずしも「重篤」でないものも含まれる。

※接種回数については、製造販売業者の出荷量から推計

※子宮頸がん予防ワクチンの報告の大部分は血管迷走神経反射に関するもの

平成25年5月20日 決算委員会 生活の党 はたともこ

厚生労働省提供「平成25年5月16日 厚生労働省開催・副反応検討会資料」より、はたともこ事務所作成